

## くらしの作文

kurasaki@chunichi.co.jp

2019.8.14

私には祖母と両親、兄二人以外に、五匹の大切な家族がいます。犬四匹とウサギ一匹ですが、四年前までは犬は二匹でした。

あの子どもたちが生まれたときのこと、今でもはっきりと覚えています。私がまだ中学生だったころのことです。塾に通っていた私は、いつも通り迎えに来てくれた母の車に乗りました。

そこであるものを渡されました。ずしんとした重さで、見慣れたドッグフードのパッケージ。けれど違ったのは、成犬用ではなく、パピー（子犬）用だったことです。

訳がわからず混乱する私に、母は笑いながら「生まれ

### 新しい家族

水谷 美月（三重県朝日町＝大学生・18歳）

たよ」と。母犬が妊娠していることを、家族の皆が気付いていませんでした。唐突な出産で、母は、てんやわんやになりながら子犬を無事取り上げたことを話してくれました。

車でそのことを聞きながら、なぜか涙が止まらなかったのを覚えています。未っ子の私は、近くで新しい命の誕生を見ることがなかったからかもしれません。

初めて抱く生まれたての子犬は、とても小さくて温かく、涙が出るほどかわいらしかったです。

今、あの時の子犬は成長し、親子仲良く暮らしています。これからも、未永く元気でいてほしいと願っています。

※アナウンサーの音読が東海テレビ・ホームページで聴けます。